

令和元年（2019年）10月17日

JIA(日本建築家協会) 東北建築学生賞で本学学生が特別賞

【本件のポイント】

- 永井幸織(地域教育文化学部4年)さんが第23回JIA東北建築学生賞で特別賞を受賞
- 応募作品41作品の中から、最優秀賞など10作品が公開審査で選考
- 本学学生の受賞は初めて。



【概要】

第23回JIA東北建築学生賞公開審査会が9月27日、仙台市で行われ、地域教育文化学部4年の永井幸織(ながいさおり)さんが特別賞を受賞しました。本学学生の受賞は初めてです。

永井さんの作品は「禅」。建築設計製図の授業で作成したものをベースにして作成したものです。暗渠化されている七日町の御殿堰を石積み水路に復元し、重厚感のある反り屋根と山形の山並みを表現した屋根で、新旧2つの建物をつなぎ、静寂な雰囲気を感じることにきる商業施設を提案しました。

公開審査会では公開ヒアリングと審査員投票を経て、応募作品41作品のなかから、特別賞に選ばれました。

【受賞作品について】

今回の課題で設定された、山形市七日町にある老舗菓子店・十一屋の敷地には、400年の歴史を持つ山形五堰のひとつである御殿堰が流れています。現在、暗渠化されている御殿堰を石積み水路に復元し、市民の憩いの場とするため、七日町の隣にある旧寺町に着目し、静寂な雰囲気を感じることにできる商業施設を提案し、親水空間としました。

建物については、寺の重厚感のある反り屋根と山形の山並みをイメージした屋根で、新旧2つの建物を覆うことによって時代の流れ、繋がりを表現しました。

十一屋をメインに山形の食を味わい、堰に面したテラスで静かに座禅を組み、古い建物の中で茶を飲み、禅とは何かを自然と感じられるような要素を取り入れています。また、山形の伝統工芸品や伝統野菜を利用、販売し、施設全体で山形の文化や歴史に触れるきっかけとなる場を提供します。

【第23回JIA東北建築学生賞について】

1. 応募資格 東北地方の大学、高専、専門学校の建築学科、及びこれに類する学科に在籍する学生で、学年を問わず応募できます。
2. 提出作品 各教育機関の設計課題で制作した未発表の建築設計作品で、各校推薦3点以内。（1課題1作品）
3. 応募期間等 （1）登録期間 2019年8月1日（木）～8月30日（金）
（2）作品提出締切 2019年9月13日（金）17:00 必着
4. 公開審査 2019年9月27日（金）
5. 主催 公益社団法人日本建築家協会（JIA）東北支部

お問い合わせ

学術研究院 助教 はま さだし
濱 定史 (工学部担当)

TEL 023-628-4367 メール hamasada@yz.yamagata-u.ac.jp